

アジアを中心に国内外 30 都市で上演されてきた宮城聰の代表作が、駿府城公園に登場！

SPACの野外劇 『天守物語』

ふじのくに野外芸術フェスタ 2023 静岡

プレス関係各位

平素より、SPAC-静岡県舞台芸術センターに格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

SPACは、来る5月「ふじのくに野外芸術フェスタ2023静岡」（主催：ふじのくに野外芸術フェスタ実行委員会）において、芸術総監督・宮城聰演出の野外劇『天守物語』を上演いたします。静岡公演は5月3日～6日に駿府城公園にて開催し、2日には「東アジア文化都市2023静岡県」春の式典でも上演されます。

『天守物語』は1996年に初演され、日本国内をはじめ、インド、パキスタン、中国、エジプト、韓国、アメリカ、フランス、台湾等の国内外30都市で上演されてきました。宮城演出の特徴である「俳優による生演奏」と「二人一役の手法（一つの役を“台詞”を担当する俳優「語り手」と“動き”を担当する俳優「動き手」の二人で演じる）」をはじめ、アジアの多様な演劇の伝統を現代の新しい創作につなぐ趣向が随所に散りばめられた“祝祭音楽劇”の原点に、どうぞご期待ください。

なお、浜松公演を5月27日・28日、市民の憩いの場である浜松城公園にて実施いたします。浜松市では初となるSPACの本格的な野外公演（有料）となります。



東アジア文化都市
2023 静岡県

Culture City of East Asia 2023 SHIZUOKA

*静岡県は、中国の成都市・梅州市、韓国の全州市の3都市とともに、日本の東アジア文化都市に選ばれました。2023年の1年間で、様々な文化交流を図ります。

ふじのくに野外芸術フェスタ 2023 静岡

「東アジア文化都市 2023 静岡県」春の式典上演作品

天守物語

この世ならぬものの棲む白鷺城天守閣第五重。その主、美しき富姫と、若き侍・図書之助。異界の者同士にだけ許される純粋な恋——。泉鏡花の幻想世界が俳優たちの生演奏にのせて華ひらくとき、駿府城天守閣がまぶたに浮かぶ……

演出：宮城聰 作：泉鏡花 音楽：柵川寛子

出演：美加理、阿部一徳、大高浩一、本多麻紀、石井萌水、木内琴子、貴島豪、榊原有美、桜内結う、大道無門優也、館野百代、寺内亜矢子、永井健二、山本実幸、吉植荘一郎、吉見亮

衣裳デザイン：高橋佳代 照明デザイン：大迫浩二 美術デザイン：深沢襟 装置デザイン原案：木津潤平

公演日：5月3日（水・祝）、4日（木・祝）、
5日（金・祝）、6日（土） 各日 18:45 開演
上演時間：65分
上演言語：日本語上演／中国語・韓国語・英語字幕

会場：駿府城公園 紅葉山庭園前広場 特設会場



『天守物語』（「ふじのくにせかい演劇祭 2011」より）©K.Miura

浜松公演

ふじのくに野外芸術フェスタ 2023 浜松

公演日：5月27日（土）、28日（日）
各日 19:00 開演

会場：浜松城公園 中央芝生広場 特設会場

主催：ふじのくに野外芸術フェスタ実行委員会 / 製作：SPAC-静岡県舞台芸術センター

※本事業は国や静岡県からの補助金等を財源の一部としています。このため、補助金等の交付状況により、中止・変更となる場合がございます。



©K.Miura



©K.Miura

チケット発売日 3/18(土)10:00 会員先行予約開始 3/25(土)10:00 一般 前売り開始

チケット料金 一般 ¥4,200 / ペア割引 ¥3,700(2名様で1枚につき) / ゆうゆう割引 ¥3,500 (満60歳以上の方)
 学生割引 ¥2,000 大学生・専門学校生 / ¥1,000 高校生以下
 ※その他グループ割引、障がい者割引など各種割引あり。

チケット購入方法 SPACチケットセンター ※電話・窓口は休業日を除く
 ▶電話 054-202-3399(10:00~18:00) ▶窓口 静岡芸術劇場チケットカウンター(10:00~18:00)
 ▶ウェブ <https://spac.or.jp/ticket>



駿府城東御門 外観夜景

ふじのくに野外芸術フェスタ

広場や公園、路上など、身近な場所で演劇に出会えるお祭り「ふじのくに野外芸術フェスタ」。2013年より静岡市・浜松市・三島市・藤枝市・掛川市・袋井市など県内各地で、国内外のアーティストが野外パフォーマンスを行ってきました。2016年からは、SPAC主催の国際演劇祭「ふじのくにせせかい演劇祭」と「ふじのくに野外芸術フェスタ静岡」を同時開催しており、毎年全国から来静した2,000名を超える観客が、風そよぎ木々の匂い漂う開放的な野外空間での観劇を楽しんでいます。

同時開催

ふじのくにせせかい演劇祭 2023

日時：4月29日(土・祝)～5月7日(日)

会場：静岡芸術劇場/舞台芸術公園/駿府城公園 他



ふじのくにせせかい演劇祭

あらすじ

戦国時代。「白鷺城」の異名をとる姫路城。だがその第五重は、「人間は生きて帰れぬ」といわれる、魔界の者たちの棲家。居並ぶ妖怪たちをつかさどる天守夫人・富姫は、猪苗代に帰る妹分の亀姫に、城主・武田播磨守寵愛の鷹を土産として持たせる。播磨守に鷹探しを命じられた若き鷹匠・姫川図書之助は、生きて帰れぬことを覚悟で第五重に現れる。富姫は妖怪に臆さぬ図書之助のいさぎよさに心をひかれ、命を奪わず地上に帰すが、主君の元に戻った図書之助はあらぬ誤解を受け、やむなく再び富姫の前にあらわれるのだった…。



©T.Uchida

演出家プロフィール



©加藤孝

宮城 聰(みやぎ・さとし)

1959年東京生まれ。演出家。SPAC-静岡県舞台芸術センター芸術総監督。東京大学で小田島雄志・渡邊守章・日高八郎各師から演劇論を学び、90年ク・ナウカ旗揚げ。国際的な公演活動を展開し、同時代的テキスト解釈とアジア演劇の身体技法や様式性を融合させた演出で国内外から高い評価を得る。2007年4月SPAC芸術総監督に就任。自作の上演と並行して世界各地から現代社会を鋭く切り取った作品を次々と招聘、またアウトリーチにも力を注ぎ「世界を見る窓」としての劇場運営をおこなっている。17年『アンティゴネ』を仏・アヴィニョン演劇祭のオープニング作品として法王庁中庭で上演、同演劇祭史上初めてアジアの劇団が開幕を飾った。他の代表作に『王女メディア』『マハーバーラタ』『パール・ギュント』など。近年はオペラの演出も手がけ、22年6月に世界的なオペラの祭典、仏・エクサン・プロヴァンス音楽祭にて『イドメネオ』、同年12月には独・ベルリン国立歌劇場における初の日本人演出家として『ポントの王ミトリダテ』を演出し大きな反響を呼んだ。04年第3回朝日舞台芸術賞受賞。05年第2回アサヒビール芸術賞受賞。2018年平成29年度第68回芸術選奨文部科学大臣賞受賞。19年4月フランス芸術文化勲章シュヴァリエを受章。

宮城聰演出『天守物語』上演歴(ク・ナウカ～SPAC)

- 1996年5月 利賀芸術公園 野外劇場(利賀・新緑フェスティバル)
- 1996年5月 黒部市国際文化センターコラーレ 大ホール
- 1996年10月 湯島聖堂 中庭(文化庁芸術祭参加)
- 1997年12月 インド・ケララ州カリカット大学演劇校/ケララ音楽演劇アカデミーホール
パキスタン・ラワルピンディー リアカット・メモリアルホール
- 1998年1月 札幌 道新ホール
- 1998年3月 彩の国さいたま芸術劇場 大ホール
- 1998年10月 芝 増上寺本堂前 野外特設ステージ(第5回 BeSeTo 演劇祭)
- 1998年11月 小倉城本丸広場 野外特設ステージ(第6回北九州演劇祭)
- 1999年2月 三重県文化会館 小ホール
- 1999年8月 中国・遼寧省・瀋陽市 和平影劇院
中国・雲南省・昆明市 昆明市第十五中学小講堂
中国・チベット自治区・ラサ ノル布林カ宮
中国・チベット自治区・ツェタン 人民影劇院前広場
- 2000年9月 エジプト・カイロ オペラハウス野外劇場(第12回カイロ国際実験演劇祭)
- 2001年7月 高知県立美術館 中庭
- 2001年7月 都立潮風公園 噴水広場
- 2001年9月 早稲田大学演劇博物館 正面舞台
- 2002年6月 韓国・水原 長安公園(第6回水原華城国際演劇祭)
- 2002年9月 鳥取 久松山御表門石段 仮設舞台(とっとりパフォーミングアーツ2002)
- 2003年3月 めぐるパーシモンホール
- 2003年3月 アメリカ・ニューヨーク ジャパン・ソサエティ
アメリカ・ニューハンプシャー ダートマス大学ムーアシアター
アメリカ・ピッツバーグ ピッツバーグ大学エディシアター
- 2004年1月 フランス・パリ カフェドラダンス
- 2004年8月 大宮市民会館
- 2004年3月 中国・敦煌 太陽大酒店・天楽宮
- 2004年4月 台湾・台北 国立中正文化中心・国家戯劇院

中国・チベット自治区
ラサ ノル布林カ宮での上演(1999年)より©六渡達郎

＝以下より SPAC として公演＝

- 2011年6-7月 静岡県舞台芸術センター 野外劇場「有度」(ふじのくにせいかい演劇祭2011)
- 2014年4月 静岡芸術劇場
- 2014年6月 浜名湖ガーデンパーク 屋外ステージ(ふじのくに野外芸術フェスタ2014)
- 2019年8月 黒部 前沢ガーデン 野外ステージ(第9回シアター・オリンピックス)

ふじのくに野外芸術フェスタ2023 静岡・浜松『天守物語』に関するお問い合わせや取材のご希望は、
SPAC - 静岡県舞台芸術センター 広報担当 坂本 豊島 までご連絡下さい。

Tel : 054-208-4008 (静岡芸術劇場) / Fax : 054-203-5732 / E-mail : koho@spac.or.jp